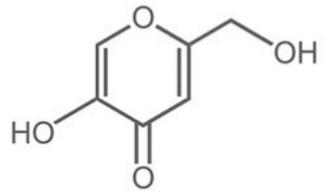


# コーセー コウジ酸配合製剤の顔面の 色素沈着の改善効果を確認

コーセーは、慶應義塾大学医学部皮膚科海老原准教授に、美白有効成分であるコウジ酸を配合したスティック状製剤を提供し、医師監修下での使用試験実施により、安全性と有効性を確認した。その結果、紅斑や白斑など有害事象の事例はなく、色素沈着の改善に有用であることが明らかとなった。



コウジ酸の構造式

この研究成果については、海老原准教授により、5月8日発行の月刊誌「診療と新薬」2015年4月号に論文「コウジ酸配合スティック状製剤の顔面色素沈着に対する有用性評価」として発表された。

同社では、昨年美白有効成分としてコウジ酸を配合した新規なスティック状の医薬部外品製剤を開発し商品発売しているが、このスティック状製剤は、油性固型タイプで容器から繰り出して肌に直接使用することから、色素沈着部位に対して簡便かつ確実に塗布できるという。

この新規製剤を慶應義塾大学医学部皮膚科海老原准教授に提供し、色素沈着の改善度を評価した。26〜56歳の顔面に色素沈着が認められる被験者21名(男性10名、女性11名)を対象に、2013年9月〜2014年4月までの24週間、連続塗布を行い評価したところ、ほとんどのケースで「やや改善」あるいは「改善」以上の効果が認められた。この試験期間中、紅斑や白斑、色素脱失を生じた例はなかった。さらに色素沈着が認められない16名の被験者についても24週間の連続塗布を行った結果、同様に有害事象は観察されなかった。

今回の研究成果により、調査結果から男性が一般的に美白ケアが緩む秋にも、夏の紫外線でダメージを受けた肌を、早く回復させたいという気持ちから、他のシーズンよりも美白ケアに熱心に取り組んでいるとみられる。

「唇」と「目もと」は各11人、「手指」の肌荒れを気にする女性は5人にとどまった。一方の男性は「デト中」、一番気になる彼女の肌荒れについて、「顔全体」は28人、「唇」と「目もと」は16人、「唇」と「目もと」は各11人、「手指」の肌荒れを気にする女性は5人にとどまった。一方の男性は「デト中」、一番気になる彼女の肌荒れについて、「顔全体」は28人、「唇」と「目もと」は16人、「唇」と「目もと」は各11人、「手指」の肌荒れを気にする女性は5人にとどまった。

女性よりも細部の肌荒れを気にすることを突き止めた。女性100名に「彼とデート中、一番気になる自分の肌荒れ」について聞いたところ、半数以上の57人が「顔全体」と答えた。「唇」と「目もと」は各11人、「手指」の肌荒れを気にする女性は5人にとどまった。一方の男性は「デト中」、一番気になる彼女の肌荒れについて、「顔全体」は28人、「唇」と「目もと」は16人、「唇」と「目もと」は各11人、「手指」の肌荒れを気にする女性は5人にとどまった。

## 男性は肌荒れを 気にする意識が 高いことが判明

### ディセンシア

敏感肌専用コスメを展開するディセンシアは、このほど、30〜40代の男女各100名に「肌荒れに関する意識調査」を実施し、調査結果から男性が一般的に美白ケアが緩む秋にも、夏の紫外線でダメージを受けた肌を、早く回復させたいという気持ちから、他のシーズンよりも美白ケアに熱心に取り組んでいるとみられる。

「唇」と「目もと」は各11人、「手指」の肌荒れを気にする女性は5人にとどまった。一方の男性は「デト中」、一番気になる彼女の肌荒れについて、「顔全体」は28人、「唇」と「目もと」は16人、「唇」と「目もと」は各11人、「手指」の肌荒れを気にする女性は5人にとどまった。

女性よりも細部の肌荒れを気にすることを突き止めた。女性100名に「彼とデート中、一番気になる自分の肌荒れ」について聞いたところ、半数以上の57人が「顔全体」と答えた。「唇」と「目もと」は各11人、「手指」の肌荒れを気にする女性は5人にとどまった。一方の男性は「デト中」、一番気になる彼女の肌荒れについて、「顔全体」は28人、「唇」と「目もと」は16人、「唇」と「目もと」は各11人、「手指」の肌荒れを気にする女性は5人にとどまった。

## 新社長に宮澤雅之氏

### イブサ

イブサでは4月1日付で宮澤雅之氏が代表取締役社長に就任した。

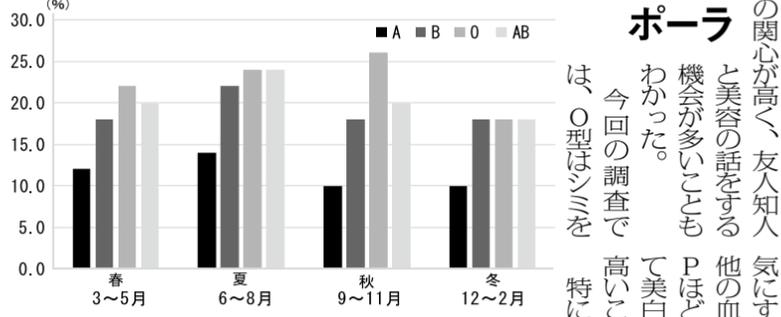
宮澤氏は1990年資生堂に入社、埼玉西支店、和歌山支店で営業に従事し、1994年より本社化粧品企画部でポイントメーカーシップブランドの販売施策を担当した。2001年、株式会社キナジャーを務めていた。



宮澤氏

## 血液型による美白意識の違いを分析

ポーラは、20代から60代の女性200人(血液型ⅡA型・B型・O型・AB型各50人)に「肌悩み」「肌悩みのケア方法」「美容意識」について調査をしたところ、全ての血液型に通ずる肌悩みのトップはシミであること、O型は他の血液型よりもシミを気にする傾向が高く、美白美容液の使用やUVケアの実践をしている人が多いことがわかった。さらにO型は、他の血液型よりも美容への関心が高く、友人知人との会話が多いこともわかった。



今回の調査では、O型はシミを気にする傾向が6割強と他の血液型よりも5〜10Pほど高く、年間を通して美白美容液の使用率が高いことがわかった。特に、他の血液型に比べて9月〜11月の美白美容液の使用率が高いことが特徴的である。O型は、美白への意識が高いため、年間を通して美白ケアを心がけていると考えられるという。また、一般的に美白ケアが緩む秋にも、夏の紫外線でダメージを受けた肌を、早く回復させたいという気持ちから、他のシーズンよりも美白ケアに熱心に取り組んでいるとみられる。

「美白のために」という意識が高いことがわかった。美容話題の頻度も、O型が一番高いことがわかった。これは、美容への関心の高さが、美容話題の頻度に現われたと考えられる。一般的に社交的といわれるO型は、雑誌やTVなどで得た美容知識を、知人友人に共有しているという。また、一般的に美白ケアが緩む秋にも、夏の紫外線でダメージを受けた肌を、早く回復させたいという気持ちから、他のシーズンよりも美白ケアに熱心に取り組んでいるとみられる。

「唇」と「目もと」は各11人、「手指」の肌荒れを気にする女性は5人にとどまった。一方の男性は「デト中」、一番気になる彼女の肌荒れについて、「顔全体」は28人、「唇」と「目もと」は16人、「唇」と「目もと」は各11人、「手指」の肌荒れを気にする女性は5人にとどまった。

女性よりも細部の肌荒れを気にすることを突き止めた。女性100名に「彼とデート中、一番気になる自分の肌荒れ」について聞いたところ、半数以上の57人が「顔全体」と答えた。「唇」と「目もと」は各11人、「手指」の肌荒れを気にする女性は5人にとどまった。一方の男性は「デト中」、一番気になる彼女の肌荒れについて、「顔全体」は28人、「唇」と「目もと」は16人、「唇」と「目もと」は各11人、「手指」の肌荒れを気にする女性は5人にとどまった。

女性よりも細部の肌荒れを気にすることを突き止めた。女性100名に「彼とデート中、一番気になる自分の肌荒れ」について聞いたところ、半数以上の57人が「顔全体」と答えた。「唇」と「目もと」は各11人、「手指」の肌荒れを気にする女性は5人にとどまった。一方の男性は「デト中」、一番気になる彼女の肌荒れについて、「顔全体」は28人、「唇」と「目もと」は16人、「唇」と「目もと」は各11人、「手指」の肌荒れを気にする女性は5人にとどまった。

## 高野創業社長が辞任へ

### たかの友梨ビューティクリニック

大手エステティックサロンの高野友梨氏が社長職を辞任すると発表した。新社長には根岸浩一氏が就任する。

根岸氏は2007年に入社し、財務経理部長、管理本部長、営業本部長などを歴任している。



高野氏